



若者たちの胸に、
熱い自信が
育っていく。

火の国 阿蘇の
恵みのブランド

自然 zen A s o C i t y

これからの農業は、地域を支えなければならない。
コミュニケーションの体験を積んで、

地域全体を背負うことができる子を育てることが肝要です。
そう主張するのは、阿蘇中央高校農業科で

教鞭をとる後藤至成先生(写真中央)。

「失敗を恐れない、ということを学ばせていきます」

生徒からちよつと煙たがられ、

大いに愛されているであろう熱血先生だ。

阿蘇の米の優秀さを全国に示したことから出場した

「全国農業高校お米甲子園」で金賞二回、

特別優秀賞二回の快挙。

生徒たちと粘り強く開発した、白いイチゴ「あその小雪」。

それらは若者たちの胸に熱い自信を育てたにちがいない。

授業は農場、放課後は硬式野球部の監督として

毎日グラウンドに立つ。

「こっちの甲子園はまだ実現していませんが」

阿蘇中央高等学校 後藤至成

あるがまま、という貴さ。

人と自然が共作する阿蘇。